

# 地域連携推進会議

令和 7 年 6 月 14 日

共同生活援助 喜和璃

○日時

令和 7 年 6 月 14 日（土）

○場所

共同生活援助事業所 喜和璃

○参加者

- ・地域連携推進員：A 様（旦那様、奥様）※地域の関係者
- ・相談支援専門員：B 様※福祉に知見がある人
- ・市の職員：C 様※施設等の所在地の市町村担当者等
- ・利用者の家族：D 様※欠席されました。
- ・利用者代表：E 様※利用者様代表
- ・グループホーム管理者：木村事業総括、田場小

○議題内容

- ・施設見学（10 分）
- ・喜和璃の事業内容の説明（15 分）担当：木村事業総括
- ・各自、自己紹介（15 分）
- ・トークセッション（60 分）

## 1. 地域連携推進会議の目的について

地域連携推進会議は、施設と地域の連携や利用者と地域の関係づくりを目的に始まりました。ぜひ、みなさんの日ごろの思いやご意見を自由に発言していただき、短い時間ですが、有意義なものにしたいと思っています。いくつか注意点をお話させていただきます。

会議内で知り得た情報の秘密保持について、本日の会議で知った個人情報等については、外部に漏らすことがないようにご配慮ください。（参加承諾書にて、同意をえています。）

会議の議事録の扱いについては、会議終了後に議事録を作成し、公表することが義務付けられているため、当事業所の自社ホームページで公表を致します。

## 2. 自己紹介

・地域住民代表者：A 様

縁あって、魚屋町に住んでいて、サラリーマンを定年して、今は後期高齢者になりました。生まれ育った場所であり、町内では、町内会の役員をしています。町内会の役員（会計、副会長、会長）はほぼ経験しています。自分らの親世代の方が皆いなくなると、町が無人的になってしまう恐れがある。城下町は一年を通して、毎月イベントが多くあり、その月々によって、犬山祭り、どんど焼き、お祭りの太鼓、決算総会、秋葉さんの夏祭り、流しそうめん、花火、アンドンを灯す、敬老会、新年会、からくり、そうだがや、冬まつり、等のイベントが活発であるとのこと。

前務めていた会社のOB会の役員も務めており、400人規模の総員数の会長もなさっている。他にも、名古屋の保育園の修繕事業の評議員や犬山市の明るい選挙推進委員で選挙の開票の立会人や、選挙の出前講座を行っています。

・知見を有する者：B 様

相談支援事業所で相談支援員をしています。本日は地域連携推進会議をすることで、障がいを持っている方と地域の方々との繋がりがうまく作れば良いと思います。

行政関係者：C 様

犬山市の障がい者支援課の担当の者で、地域連携推進会議を行うことで、グループホームがどのような施設なのかを地域の方々に認知してもらうことで、閉鎖的な環境にならないようにし、風通しが良い環境に繋がっていけばよいと思います。

ご家族様：D 様

※ご都合により、ご欠席。 後日、本会議の内容を伝え、施設見学を行う。

利用者様：E 様

グループホームに入所している、E です。今、求職活動を頑張っています。

事業所職員：管理者 F サビ管 G

## 2. 法人・事業所紹介

※パンフレットに沿って説明。



☆障がい者総合支援法に基づく障害福祉サービス  
家庭的な雰囲気の中で、ひとりひとり伸び伸び過ごし、安心・安全な住環境で  
日常生活に必要な力を身につけます。

- 障がい者総合支援法に基づく事業の実施
- 児童福祉法に基づく事業の実施
- いつでもだれでも気軽に支え合えるネットワークの構築

居室で、自由に過ごしたり、各季節の行事イベント、買い物実習、外出を行うことで、美しい自然を共有します。その人になった、余暇活動ができるようになっています。

**生活**

本人の長所や個性、能力に順じて、身の回りのことは自分で行う事で、生活スキルを身に付け、自信を育みます。また、集団生活の中で他者と助け合いながら生活を営みます。

**余暇**

家庭の役割が家族間の、家族生活のコミュニケーションの場、家族の役割が、色々な料理を提供しています。リクエストにも応え、簡単に作る、リクエストが豊富にあります。

**食事**

16:00	16:30	17:00	19:00	22:00	6:30	9:00
帰宅	休憩	入浴	準備	金番	就寝	起床 朝食 出勤



⑤生活  
喜和環に到着後、明日の準備やその日のスケジュールの確認をします。  
リビングで仲間と過ごしたり、居座りまったり自分の時間を過ごす自由時間、  
自宅にいるような気持ちでリラックスした生活を送ります。  
洗濯や掃除などの衣食住に関わる生活力を自分の力で行う事で、生活スキルの  
維持と向上を目指します。

⑥入浴  
必要に応じ、身体・洗髪のお手伝いを行っています。看護師による、健康  
チェックを行い、清潔の保持や身体に異常がないかの確認もします。広い浴室  
で一日の疲れをゆとりたりに流していきます。

⑦食事  
バリエーション食堂で栄養満点・愛情たっぷりのお食事を召かへん！健康にも気をつ  
けながら、リアクストにも答え、よく噛んで食べることを習慣化し、片付け  
まで自分で行います。お楽しみ会・卓球パーティーも行っていきます。

⑧居室  
ベッド、暖房、TV、ベッド、を完備し快適に過ごせます。自分たちの好きな物を  
飾ったり置いたりして、安心して過ごせるように配慮しています。

⑨余暇  
城下町へ散策に出掛けたり、施設外へ出かけたりする事も行っています。  
日常生活で必要なものを買いに出かけたり、散歩へ行ったり、身体を動かすこと  
で、健康維持、維持を担っています。

⑩異年齢交流  
入所されている方と、短期入所を利用される方と一つ屋根の下で生活すること  
で、お互いが協力し合うことで新しい縁をつくり、楽しい時間を過ごします。



喜和璃は利用者にとって、第二の家という事を念頭に置き、集団生活の中で互いの関係性を

築きながら、楽しく、安心・安全に暮らす事で、地域との繋がりを深めていきたいと思いま  
す。

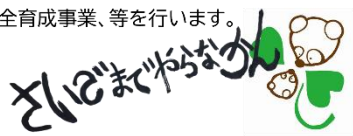
・ぽんぽこネットワークの理念

※※パンフレットに沿って説明。



### 活動理念

障害児者に係わるあらゆる課題をネット  
ワークを構築することにより改善、解決  
を図り、地域活動の向上と福祉の増進に  
寄与する事を目的に、保健・医療・福祉の  
増進を図り、地域に根付いたまちづくり  
をめざし、障害者支援に関する地域ネット  
ワーク事業、障害者に関する交流推進  
事業、就労支援事業、スポーツによる健  
全育成事業、等を行います。



### 活動実績

- H15.12 ぽんぽこネットワーク設立
- H16.12 犬山市内総合地域において、「ぽんぽこ市」開催
- H17.4 犬山県において、魚屋町の協力によって、「魚屋山(ひきやま)」参加
- H17.5.2 法人格取得(特定非営利活動法人「ぽんぽこネットワーク」)
- H17.10 犬山北小学校にて学校支援活動開始
- H19.2 NHK「ハートをつなごう」出演
- H19.10 地域活動拠点「伽耶(がや)」開設
- ※3歳から小学校にて学校支援活動開始
- H23.7 第1回ふたの海開祭 中子町開設(ぽんぽこクラブ)
- H23.10 さらにふたの海開祭開設(ぽんぽこクラブ)
- H23.12 美濃特定児童福祉施設 実施
- H24.2 漢字検定準備会開催(実施)
- H24.4 伽耶開設(相談支援事業)
- スマイルファクトリー開設(就労支援施設B型)
- ハッジパッジ開設(放課後等デイサービス)
- H25.4 トライアングル開設(放課後等デイサービス)
- どんぶり開設(日中一時支援)
- H25.5 フォアミライズ児童発達センター開設
- H27.4 大樹開設(保育所等訪問支援)
- H27.7 ぽんぽこ・林業シーズ開設(放課後等デイサービス)
- H28.3 ドリーム/リファクトリー開設(放課後等デイサービス)
- H28.7 善和開設(共同生活援助/短期入所)
- H29.4 ぽんぽこ・扶養リトルシーズ開設(児童発達支援)
- R2.5 児童発達支援センター善和開設
- (児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、相談支援)
- R3.5 善和開設(生活介護)
- R3.12 善和開設(生活介護)
- R7.6 善和開設(生活介護)

法人名 特定非営利活動法人  
ぽんぽこネットワーク  
設立 平成17年5月24日  
所在地 〒484-0081  
愛知県犬山市前原西四丁目20番地

電話番号 0568-65-1231  
FAX 0568-48-2618  
問合せメール [poninfo@kiwari.jp](mailto:poninfo@kiwari.jp)  
ホームページアドレス  
<http://www.ponpokonet.or.jp>  
☆事業内容(障害福祉サービス)

- ・児童発達支援センター 喜羅夢(きりむ)
- ・放課後等デイサービス 喜羅夢(きりむ)
- ・放課後等デイサービス ハッジパッジ
- ・保育所等訪問支援事業 大樹(たいじゅ)
- ・特定指定障がい児者相談支援 伽耶(がや)
- ・生活介護事業所 喜羅夢(きりむ)
- ・共同生活援助 / 短期入所  
喜和璃(きわり)
- ・施設入浴サービス ぽんぽこの湯



### 3. 利用者と地域の関りについて

#### サビ管 G

地域連携を考える上で必要なのは、相互の理解が重要であると思います。投薬をしている  
方も生活されており、中にはてんかん発作を持つ方もいらっしゃるのです。てんかん発作等  
が出た場合には、救急車を呼ばないといけなくなることもある場合があります。救急車を  
呼ぶことになった場合には、夜間従事者が引率することになり、その場合、緊急対応とし  
て他の職員を応援要請するのだが到着までの間は、動けないこともある。命にかかわること  
があるので、迅速に対応することが求められることを説明し、その場合には、地域で助  
け合っているとありがたい。

#### 管理者 F

ハローワークなどに行き、企業連携を目的に懇談する中で、企業の方々から踏み出せない  
理由は、その子のために、一人従業員がつかないといけない。責任が取れないという現  
実がある事を指摘された。国からも雇用率をあげるようにとされているが、雇用をする  
側に必要な対策も作ってあげることが必要と考える。地域の方々へのイベントに誘われる  
こともあるのだが、やはり責任の問題になることも懸念点の一つである。まずは、地域の  
人と関わる機会を作っていく事で、利用者と地域の関わりを深くしていければと思う。

#### 4. 施設見学



- ・防災設備を見ていただき、説明をする。
- ・利用者の方の同意を得て、居室内の見学。備品の確認、趣味の話。
- ・共同スペースの備品、備蓄品の説明。

#### 6. ご要望・ご感想

- ・地域住民代表者：A 様奥様より

幼稚園で仕事をしていた経験から、幼児の生活を見ていると、皆でフォローをしていく。ある程度、環境を作っていけば、自分たちで動いて行ける。地域の方々との付き合い方として、言わせてもらうならば、最初にどんな特性があるのか、言ってほしい。利用されている方の決まったこと、やれること、やれない事等の特性を教えてほしい。

- ・知見を有する者：B 様

こういった会議をすることで、地域の方々の顔を見合わせながら話をする場はとてもいいですね。また、定期的にこのような会を開催して、繋がりができていくことを望んでいます。

- ・行政関係者：C 様

閉鎖的な環境になりやすいことが多いですが、ぽんぽこさんは、オープンにやっている印象を受けました。定期的開催されることで、透明性のある事業所運営に繋がり、利用されている方の安全安心に留意されつつ、地域との方々とのつながりを深めていけることを望んでいます。

利用者様：E 様

また、お願いします。挨拶頑張ります。